

# 箕面 おんがく 批評塾 シーズン2

会場 箕面市立西南生涯学習センターホール  
各日 14時00分～16時30分

- 6/29 (土) 「音楽」を批評する  
なぜ“おんがく”なのか
- 7/27 (土) 「歴史」を批評する  
音楽における作り手は誰か
- 9/28 (土) 音楽批評の実践1  
一緒に考える
- 10/27 (日) 音楽批評の実践2  
ひとりで考える
- 11/23 (土) 音楽批評の実践3  
フィールドワーク「箕面の滝道」
- 12/21 (土) 「演奏」と「聴取」を批評する  
実証主義を超えた古楽の可能性
- <sup>2025</sup>1/26 (日) 「音楽」を批評する  
音楽とは何か
- <sup>2025</sup>3/29 (土) 再演企画「いつ明けるともしれない夜また夜を」大阪ver. を批評する

音楽とは何か、  
考え、語り合い、  
そしてかたちにする場

昨年開講した「箕面おんがく批評塾」。ご好評をいただきまして、第2シーズンを始めさせていただけることとなりました。この塾が目指すことは、音楽の評論文をそつなく書けるようにすることではありません。クラシック音楽を中心に音楽というものを根本から見つめ直し、共に考え、語り合い、吟味する、これが目的です。ですから、音楽に関する特別なスキル（演奏ができるとか楽譜が読めるとか）は、必要ありません。ただ、音楽が好きで、でも好きな音楽について一度疑ってみたいというひとが、ぴったりです。そうはいつでも、あまり肩に力を入れる必要はありません。講師による生演奏もあれば、塾生みんなで箕面の名所・滝道を散歩する1日もあります。箕面を発信地に、音楽について一緒に考え、感じていきましょう。 (塾長：布施砂丘彦)

# 箕面おんがく批評塾 シーズン2

この講座は箕面市立西南生涯学習センターで行われます。毎回の講座は二部構成で、講師によるレクチャーと、受講生と共に行うワークショップから成ります。前半のレクチャーでは、講師がスライドや音源を用いながら講義を行います。後半のワークショップでは、講師が提示するテーマについて講義を行うだけでなく、受講者の皆さんとの対話の時間も設けているほか、実際に音楽批評に挑戦してもらいます。また、生涯学習センターを離れてフィールドワークを行う日もあります。

## 募集要項

応募資格 18歳以上の音楽、演劇、美術、パフォーマンスなど  
芸術全般に興味があるかた  
定員 15名 ※定員を超えた場合は抽選となります。  
受講料(全8回) 一般 4,000円/学生 2,000円

## 申込方法

受付期間 4/3(水)ー4/30(火)  
申込用紙に記入し、西南生涯学習センターへ持参またはファックス  
電子メールの場合、seinan@minoh-bunka.com 宛に  
件名「箕面おんがく批評塾」  
本文に申込用紙と同じ項目を記載してください。  
※ファックス、電子メールでの申込時には必ずお電話ください。

## お申し込み・お問い合わせ

箕面市立西南生涯学習センター  
〒562-0045 大阪府箕面市瀬川3-2-5  
TEL 072-723-5222  
FAX 072-724-9695  
Mail seinan@minoh-bunka.com  
休館日 月曜日(ただし祝日・休日の場合は開館。振替えなし)  
アクセス 阪急電車「桜井」駅下車 徒歩10分

## フィールドワーク「箕面の滝道」について 日常をコンサートにする 滝道プロジェクト

川のせせらぎ、鳥のさえずり、森のざわめき、虫のいななき。箕面市が誇る観光名所・滝道は豊かな自然の音楽に溢れています。そんな滝道を歩きながら、片側だけイヤホンをして、音楽を聴く。流れてくる音楽と自然のささやきが交差し、一度限りの音楽が生まれます。受講者の皆さんには、滝道を歩いてもらい、歴史や自然を学び、そして自然の音に耳をすませてもらいます。どんな音楽を組み合わせたら、どんな体験になるか。自分なりのセットリストを作るもよし、演奏ができる方は自分で演奏をしてもよし、曲を作ってもよしです。歴史と自然を学び、音楽を作る。これもひとつの、音楽批評のかたちです。



塾長  
布施 砂丘彦 (ふせ・さくひこ)

東京藝術大学卒業。プロオーケストラへの首席客演や実験音楽の演奏を行うほか、ピリオド楽器の演奏もしており、アントネッロやバッハ・コレギウム・ジャパンなどの公演に出演。多様なサイズ、調弦のヴィオローネを演奏する。また、近年は他ジャンルのアーティストと共に領域横断的な演奏活動を行なっている。2020年、パンデミックをきっかけに音楽批評に取り組み、時評「音楽の態度」で第7回柴田南雄音楽評論賞奨励賞を受賞しデビュー。現在は朝日新聞の連載「for your Collection クラシック音楽」をはじめとして紙・デジタルを問わず多くのメディアに寄稿。現在は自らの活動の中心としてコンサートの企画制作、プロデュースを行っている。2022年には音楽祭「箱根おんがくの森」を立ち上げ、アートディレクターに就任。ミヒャエル・ハイドン・プロジェクト主宰。

申込用紙

フリガナ	生年月日	年	月	日
お名前				
〒	-			
ご住所				
TEL	-	-		
				Mail